



FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：池ノ谷 敏正 副会長：森下 敏顯 幹事：鈴木 舜光 副幹事：大長 昭子

第2076回

●ソング 我等の生業
●ソングリーダー 土屋 昭子君



【薔薇】

写真提供：櫻井 龍太君

会長報告

池ノ谷 敏正君

皆さんこんにちは。

今月はロータリー理解推進月間です。この月は、会員にロータリーについて知識と理解



を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間だそうです。

我がクラブの年間計画では、今月特に月間に適したプログラムの実施というものは予定しておりませんが、ロータリアン以外の一般市民にロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムということでは、春から予定されています静岡産業大学の寄付講座が、これに最も適したプログラムではないかと思っています。

では、我々ロータリアンは、どのようにロータリーについての知識と理解を深めたら良いのでしょうか。実はロータリーを学ぶ4つの方法が、川崎西ロータリークラブの故田澤龍吉氏の「私の勉強法」という著書に書かれているそうです。その4つの方法とは、次のようなものです。

1. 体で覚える方法。週1回の例会はもとより、あらゆる機会に出席することが、ロータリーを知る最善の方法だそうです。
2. 文献による方法。習いの初めは、まず文献に当たることです。まずは「ロータリーの友」を毎月熟読することが、早道となるようです。
3. 先輩の話を聞く方法。芸事やスポーツなどは、始めに良い師匠につくことが上達の早道とされていますが、ロータリーも例外ではないようです。

4. 対話する方法。当然、ある程度のロータリーの知識がついてからの話となりますが、率直に自分の感じたことを先輩に話してみる、ということも大事なようです。

ロータリーとは何か、そして、どうすることが真のロータリアンとしての姿勢なのかといった答えは、ロータリアンの数だけあるかと思いますが、その基礎はやはり「4つのテスト」であり「奉仕の理想」である、思いやりと助け合いの心をいかに実践するかではないかと思います。

皆様は、いかがお考えでしょうか。

以上、本日の会長報告と致します。

理事会報告

鈴木 舜光君

- ・2月・3月のプログラムが承認されました。
2月18日の卓話は国際奉仕担当卓話から職業奉仕担当卓話へ変更となりました。
- ・2014-2015年度中間決算について承認されました。
- ・吉田記念オーケストラコンサートチラシ配布について承認されました。

幹事報告

鈴木 舜光君

- ・第2620地区より
2015～2016年度RI会長テーマが発表されました。
「世界へのプレゼントになろう」
- ・藤枝社会福祉協議会より
広報紙「ふじえだ社協だより」が届いております。
- ・ザ・ロータリアン誌2月号が届いております。

出席報告

松葉 義之君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
31/42 73.80%	35/42 83.33%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○荒井君 ○河井君 ○菅原君 ○鈴木透君
○大長君 江崎晴君 大杉君 落合君 島村君
仲田晃君 柳原君

ポリオプラス寄付金

ポリオ撲滅活動へのご協力有難うございます。

本日寄付金額 4, 1 9 9 円

寄付金累計額 8 6, 9 2 1 円

外部卓話

藤枝市長
北村 正平様



選ばれるまちふじえだ 北村市政の取り組み

～高齢者に優しいまちづくりで、藤枝の勢いをさらに増す～

平成27年 正月
藤枝市長 北村正平

◎羊年の「羊」

・平穏で安全な社会で仲良く暮らし、家族が安泰、平和であること

◎今年は歴史の大きな節目

・戦後70年を迎える → 日々平和に暮らせることの大切さを、今一度考える
・未曾有の人口減少 → この国の形が変わる…国の舵取りの中、十分な議論が必要
地方にとっても岐路…これからのまちづくりの正念場
都市の将来のため何が必要か、何をすべきかが試される時代

◎増え続ける藤枝の人口

・県内で人口が増えているのは、藤枝市、袋井市、長泉町。本市は3年連続1位！
・藤枝市は特に、子どもを持つ若い世代の定住化が進んでいる

◎「選ばれるまちふじえだ」づくりを推進中

・暮らしの基本＝4つのK(健康・教育・環境・危機管理)の日本一を目指す
・シティプロモーションを進めています(藤枝の魅力を戦略的に県内外、国内外に発信)
・広域連携を推進中(消防の広域化、志太3市・中部4市との共同施策の推進)

◎健康長寿ふじえだの特長

・男性が長寿である → 浜松市に次いで県内2番目
・がんの死亡者が少ない → 全国で男3位、女2位(10万人以上の市で)
・がん検診受診率が高い → 県内トップクラス、全国平均の2～3倍
・メタボが少ない → 全国最少の静岡県の中でも特にメタボが少ない
・特定健診の指標が良い → 全ての項目で県内トップクラス
・後期高齢者医療費が安い → 県内23市中で最も低い

◎市民の健康が都市の健康を創る…日本一の健康都市

・都市の力の源は市民。都市が元気であるためには、市民が健康であること。
・高齢者が元気、笑顔でいきいきと健康に暮らす⇒本人、家族、都市の一番の要素。
・健康を維持し市民の模範となる高齢者を、本市は「元気はつらつシニア大賞」で独自に表彰し、元気な高齢者を応援しています！
・健康は、自らの取り組みで自らつくる！
⇒市政が市民の行動を後押し、健康寿命を延ばす取り組みを進めています

◎藤枝の福祉の取り組み…その全国的先進性

・高齢者支援(安心すこやかセンター、ふれあいサロン、高齢者見守りサービス)
・認知症対策(徘徊高齢者等見守りネットワーク、認知症の人に優しい事業所等を認定)
・要介護支援(第6次ふじえだ介護・福祉プラン21を策定中、特養等介護施設を充実)
・高齢者も住みやすいにぎわいあるまちづくりで、第2期中心市街地活性化計画を進めています(1都10県で唯一：駅前1丁目8街区 第1種市街地開発事業など)

◎地域包括ケアシステムの推進

・医療、介護、住まい、生活支援、介護予防を一体的に提供する地域包括ケアシステム
・医師会、総合病院、訪問看護ステーション、介護事業所など、在宅医療と介護が連携
・市の組織として「地域包括ケア推進室」を新年度に設置し、体制を充実強化します

◎暮らしの基本…市民との協働で、高齢者の買い物支援

・民間事業者のアイデアで、様々な買い物支援を実施中→市が全面バックアップ
・商店街による高齢者福祉施設や中山間地域などへの出張販売、ワゴンセール
・市社会福祉協議会による、地域住民が買い物をお手伝いするサービスの提供
・民間事業者等の提案を市の施策にどんどん反映し、高齢者の暮らしを支えます

◎公共交通の充実

・民間事業者の赤字路線撤退を受け、本市独自で自主運行バスを運営中
・予約制のデマンドタクシーなど、新たな市民の足を確保しています

◎結びに

・わが国の少子高齢化、人口減少を逆手にとった先進施策を進めています
・老いも若きも、人はまちに力をもたらし、経済を活性化する源泉。人を育て、人が仲間をつくり、人がまちを動かす ⇒ 「ふじえだ人財育成戦略」！
・多くの人が藤枝にきたい、永く住みたいと思うまち、若者も高齢者も元気に、安心して明るく住み続けられる都市を創り続けます
・各界各位の協力とアイデアで、市政が動きます。

このまちの、輝く未来のために

(担当/畑君)